

(様式1)

1 自己評価及び外部評価結果

作成日 令和 4 年 3 月 29 日

【事業所概要（事業所記入）】

事業所番号	3490201401		
法人名	森信建設株式会社		
事業所名	グループホームなでしこ五日市		
所在地	広島市佐伯区千同一丁目30番25号 (電話) 082-208-3596		
自己評価作成日	令和4年2月10日	評価結果市町受理日	

※ 事業所の基本情報は、介護サービス情報の公表制度のホームページで閲覧してください。

基本情報リンク先URL	<a href="https://www.kaigokensaku.mhlw.go.jp/34/index.php?action_kouhyou_detail_022_kani=true&amp;JigyosyoCd=3490201401-00&amp;ServiceCd=320&amp;Type=search">https://www.kaigokensaku.mhlw.go.jp/34/index.php?action_kouhyou_detail_022_kani=true&amp;JigyosyoCd=3490201401-00&amp;ServiceCd=320&amp;Type=search</a>
-------------	---

【評価機関概要（評価機関記入）】

評価機関名	一般社団法人広島県シルバーサービス振興会
所在地	広島市南区皆実町一丁目6-29
訪問調査日	令和4年3月14日

【事業所が特に力を入れている点、アピールしたい点（事業所記入）】

運営方針「ゆったり、のんびり、ほがらかに」を理念とし、毎朝の引継時に唱和しています。開設から約2年経過しましたが、広い大きなフロアで入居者様はのんびりと過ごされています。開設時より介護記録をタブレット端末やスマートフォンで入力しデジタル化を行っています。そのため職員間の情報共有の簡潔化、時間の効率化が図られています。その結果、記録に要する時間が短縮されケアの向上に役立っています。調理は専門の調理員が昼・夕食を手作りで温かい食事を提供し、また、お米は農家から直接玄米を仕入れ、事業所内で精米を行い提供しています。新型コロナウイルス感染予防のため家族様との交流は制限しておりますが、一定のルールに基づき面会は行っています。

【外部評価で確認した事業所の優れている点・工夫点（評価機関記入）】

理念である「ゆったり、のんびり、ほがらかに」を普段日常的に利用者を感じて貰えるよう心掛け、一人ひとりに合わせ寄り添う支援を行うことで利用者の豊かな生活の実現に繋げている。食事は調理専属職員を配置し手作りの料理に拘り、意向を柔軟に反映させた食事への取り組みや企画が特徴となっている。協力医や歯科医の定期往診や、希望により心療内科の訪問診察を受けることもでき、適宜、訪問看護とも連携することで安心して医療が受けられる体制を築いている。災害対策もハザードマップ上のリスクを把握し有事の避難体制を確保している。職員は意見を表出しやすくお互いに気付きを共有し協力し合える風通しの良い職場風土を築いている。

自己評価	外部評価	項目(なでしこ五日市1階)	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の( )内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
<b>I 理念に基づく運営</b>					
1	1	○理念の共有と実践  地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践に近づけている。	運営方針「ゆったり、のんびり、ほがらかに」のもと、利用者様に寄り添った介護を実践するように心掛けています。	理念は玄関や会議室に掲示し、朝礼で唱和し周知に努めている。運営理念に基づき、ゆったりとした生活が送れることを支援の姿勢として利用者との関わりを築いている。日常の中で一人ひとりに寄り添ったサポートがなされることで利用者個々に朗らかな和める生活に繋げている。	理念の実践において、理解を深め日々支援を行えているか、研鑽となっているか等振り返りがなされていない状況にあり、職員間においても意識の差が伺える状況にある。理念は支援を行う上で根幹であることを踏まえ、職員それぞれが身につけられることを期待する。
2	2	○事業所と地域とのつきあい  利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している。	開設時以来、新型コロナウイルス感染予防のため、地域交流が出来てはいませんが、近所にお住いの方には散歩時等の挨拶は行っております。朝の通学時にはたすきをかけて声かけを行っています。また運営推進会議開催時には、町内会長様、民生委員様にはご出席をお願いしております。	コロナ禍であり地域との交流は控えているが、町内会に加入しており回覧板にて地域のお知らせや活動の情報を得ている。日々の散歩での挨拶や、事業所が通学路に面していることで、朝の児童通学時に利用者も笑顔で声を交わすふれあいが地域の日常風景となっている。	
3		○事業所の力を活かした地域貢献  事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている。	地域との交流が出来ない中、いかにして地域の人々に向けていけるか模索しているところです。		
4	3	○運営推進会議を活かした取組み  運営推進会議では、利用者やサービスの実績、評価への取組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている。	新型コロナウイルス感染予防のため、今年度は令和3年12月のみ開催しました。家族様、介護保険課等へ次第・資料を送付し、意見・要望等を頂き、サービス向上に活かしています。	コロナ禍の情勢を慎重に捉え開催の判断を模索し、意欲的な姿勢で望んでいる。現在は資料を各関係者に送付し書面にて活動の報告を行っているが、開催できた時には町内会長や民生委員、家族の参加があり有意義な意見交換を行っている。	
5	4	○市町との連携  市町担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実績やケアサービスの取組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる。	運営推進会議開催時は、介護保険課、地域包括支援センターに出席のお願いしています。文書による会議開催時は報告書を介護保険課に提出しています。	運営推進会議の報告や介護保険における確認事の連絡、要介護認定更新申請の手続きなどで連携している。地域包括支援センターから相談あり利用に至るケースなど日頃からの連携にて相互の関係を築いている。研修や講演会の案内もありオンラインにて参加している。	

自己評価	外部評価	項 目( なでしこ五日市1階 )	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の( )内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
6	5	<p><b>○身体拘束をしないケアの実践</b></p> <p>代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる。</p>	<p>「身体拘束適正化のための指針」に沿って取り組んでいます。毎月のフロアミーティングで具体的な行為について職員間で確認しています。また玄関の施錠は安全優先のため外部からの侵入防止のため施錠しています。身体拘束の有無については隔月開催の運営推進会議にて報告しています。</p>	<p>毎月フロアミーティングで職員同士気付きを共有しケアの在り方を確認すると共に、身体拘束適正化の指針に沿って意識を持ち実践に努めている。事務所外に出ようとされる方には本人の納得のいく理由や声掛けにて落ち着くように促し、行動制限やスピーチロックにも意識し取り組んでいる。</p>	
7		<p><b>○虐待の防止の徹底</b></p> <p>管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている。</p>	<p>入浴時や更衣時に身体の観察（打ち身や痣の有無）を行い、職員間での情報共有をしています。運営推進会議にて身体拘束と合わせて虐待防止についても報告を行っています。</p>	/	
8		<p><b>○権利擁護に関する制度の理解と活用</b></p> <p>管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している。</p>	<p>現在、成年後見制度を利用されている利用者様が複数名おられます。家族様や電話での問い合わせに同制度の説明は行っています。</p>	/	
9		<p><b>○契約に関する説明と納得</b></p> <p>契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている。</p>	<p>契約時に、契約書の内容を読み上げながら細かく説明を行い、理解・納得して頂くようにしております。また、入居後も不安や疑問点等問合せ等については丁寧に説明しています。</p>	/	
10	6	<p><b>○運営に関する利用者、家族等意見の反映</b></p> <p>利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている。</p>	<p>電話や面会時、また担当者会議で家族様からの意見・要望をお聞きし、改善できることは直ぐに取り組んでおります。また職員間での情報の共有も行き運営に反映させています。</p>	<p>利用者へは日々の関わりから意向を汲み取り、食べることや買い物への希望にできるだけ応えるように努めている。家族には電話連絡時や面会時に意見や要望を確認し、面会が制限される状況下で会いたいという思いにリモート面会ができるように対応した事例がある。</p>	

自己評価	外部評価	項目(なでしこ五日市1階)	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の( )内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
11	7	○運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている。	管理者は代表者に毎日メールで報告し指示を受けています。また職員からの要望・意見・提案は話しやすい状態を心掛けています。代表者は毎週訪れており、職員や利用者様に声掛けし、意見交換や提案を聞いています。	管理者は日々の業務の中で職員の意向を確認し、職員も何でも言い易く相談が行える関係を築いている。代表者は毎週事業所に足を運び、普段から意見に耳を傾け、毎月全体会議にも参加し意見交換をし、職員の希望や思いが表出しやすいよう工夫している。	
12		○就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている。	代表者・管理者は勤務状況を確認し無理のないシフト作成の調整を行っております。「サービス残業なし」を明示し実践しています。働きやすい職場環境作りに努めています。		
13		○職員を育てる取組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている。	代表者・管理者は勤務状況を確認し無理のないシフト作成の調整を行っております。「サービス残業なし」を明示し実践しています。働きやすい職場環境作りに努めています。		
14		○同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取組みをしている。	代表者となでしこ富士見町・温品の管理者を交えたzoom会議を開催し意見交換、情報共有を行っています。また、他施設の介護記録をタブレット端末等で確認することで介護サービスの質の向上に役立っています。		
<b>II 安心と信頼に向けた関係づくりと支援</b>					
15		○初期に築く本人との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている。	入居前の事前面談で本人様・家族様から普段の生活状況やADLを確認し、入居にあたり、不安や要望をお聞きし、その情報を職員間で共有しています。入居後暫くの間は帰宅願望など不穏な状態が見られる事から1日でも早く安心して生活が出来るように本人様とのお話を傾聴しています。		

自己評価	外部評価	項 目( なでしこ五日市1階 )	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の( )内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
16		○初期に築く家族等との信頼関係  サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている。	入居前の事前面談で本人様・家族様から普段の生活状況やADLを確認し、入居にあたり、不安や要望をお聞きし、その情報を職員間で共有しています。入居後暫くの間は帰宅願望など不穏な状態が見られる事から1日でも早く安心して生活が出来るように本人様とのお話しを傾聴しています。		
17		○初期対応の見極めと支援  サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている。	事前面談でケアマネジャーを交えて本人様・家族様から意見・要望をお聞きしています。入居後は、現在のサービス内容が適切なのかどうかフロア職員間で意見交換し、必要なサービス等を検討しています。		
18		○本人と共に過ごし支えあう関係  職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている。	出来るだけ入居前の生活様式を大事にし、寄り添いながら日々生活して頂けるように心掛けています。		
19		○本人を共に支えあう家族との関係  職員は、家族を支援される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている。	利用者様の行動様式の変化や気づいた点は家族様に確認し相談しています。共に支えていく関係を構築していこうとしています。		
20	8	○馴染みの人や場との関係継続の支援  本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている。	新型コロナウイルス感染予防のため、面会や外出等は自粛して頂きました。普段の様子は毎月の請求書を送る時にスナップ写真を数枚同封して送っています。またリモート面談を行われる家族様もおられます。	感染症対策のため面会や外出に制限がある中、家族との繋がりや想いを大事にできるように電話や手紙でのやり取りの支援を実践している。携帯画面から利用者の様子が見られるよう写真を利用者毎にフォルダーにしたホームページを作成し、家族がいつでも気軽に見られるようにした事例がある。	

自己評価	外部評価	項目(なでしこ五日市1階)	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の( )内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
21		○利用者同士の関係の支援  利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている。	利用者様同士の相性や生活スタイルなどを把握し、席を入れ替えるなどお互いが関わりあえるように工夫しています。また職員も楽しく過ごして頂けるように支援しています。		
22		○関係を断ち切らない取組み  サービス利用(契約)が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている。	利用者様同士の相性や生活スタイルなどを把握し、席を入れ替えるなどお互いが関わりあえるように工夫しています。また職員も楽しく過ごして頂けるように支援しています。		

### Ⅲ その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント

23	9	○思いや意向の把握  一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している。	利用者様同士の相性や生活スタイルなどを把握し、席を入れ替えるなどお互いが関わりあえるように工夫しています。また職員も楽しく過ごして頂けるように支援しています。	利用者の隣にいてのんびりと話し話をするなど寄り添いを意識し、日常の中で思いを把握している。利用者の様子や言動を元に汲み取ることや自宅での生活など家族から聴いている。得た情報は申し送りノートで確認し、全員が周知を徹底し実現できるように取り組んでいる。	
24		○これまでの暮らしの把握  一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている。	事前面談の際に、それまでの生活歴や趣味、好きなこと、普段の暮らし方等の把握に努めています。		
25		○暮らしの現状の把握  一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている。	事前面談の際に、それまでの生活歴や趣味、好きなこと、普段の暮らし方等の把握に努めています。		

自己評価	外部評価	項 目( なでしこ五日市1階 )	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の( )内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
26	10	<p>○チームでつくる介護計画とモニタリング</p> <p>本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している。</p>	<p>デジタル化された介護記録や担当職員からの情報をもとにモニタリングを行い、本人様・家族様の要望・希望を聞き、それをもとにできる抱く現状に即した介護計画を作成しています。</p>	<p>計画作成者が本人や家族の意向をもとに、日々の介護記録や担当職員から情報を確認し介護計画を立案している。ケアミーティングで全員が共有し意見を交え検討している。食事低下がみられる方には嚥下機能向上を視点にするなど、利用者の現状に即したプランとなるよう作成している。</p>	
27		<p>○個別の記録と実践への反映</p> <p>日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている。</p>	<p>タブレット等で介護記録を管理していることにより、いつ、どこでも職員間で情報を共有することにより、体調等の変化などに気づき易くなりました。また主治医や訪問看護への情報提供もスムーズに出来ています。</p>		
28		<p>○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化</p> <p>本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる。</p>	<p>タブレット等で介護記録を管理していることにより、いつ、どこでも職員間で情報を共有することにより、体調等の変化などに気づき易くなりました。また主治医や訪問看護への情報提供もスムーズに出来ています。</p>		
29		<p>○地域資源との協働</p> <p>一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している。</p>	<p>散歩時等で地域の方に挨拶を行っております。また施設が面している道路が小学校の通学路になっていますので、登校時の小学生に「なでしこ見守り隊」として朝の声掛けをしていました。</p>		
30	11	<p>○かかりつけ医の受診支援</p> <p>受診は、本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している。</p>	<p>入居前からのかかりつけ医の継続も可能ではありますが、本人様・家族様の了解のもと、施設の内科医・歯科医の定期的な訪問診察と希望者には心療内科の訪問診察を受けて頂いています。その他必要に応じ専門医の受診にもお連れしています。</p>	<p>利用開始以前からの馴染みのかかりつけ医の受診も家族協力を得る形で可能としている。協力医による1~2週間毎の往診があり急遽の対応も可能であることや、歯科医の往診も定期的に行き同行する歯科衛生士により口腔ケアが行われ、それぞれに適宜指導を受け日々のケアにも活かされている。</p>	

自己評価	外部評価	項 目( なでしこ五日市1階 )	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の( )内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
31		○看護職員との協働 介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している。	入居前からのかかりつけ医の継続も可能ではありますが、本人様・家族様の了解のもと、施設の内科医・歯科医の定期的な訪問診察と希望者には心療内科の訪問診察を受けて頂いています。その他必要に応じ専門医の受診にもお連れしています。		
32		○入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。又は、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。	入院時には病院関係者との情報共有を行い、出来るだけ早く早期に再入居出来るようにしています。また退院時には内科の主治医・訪問看護にも支援をお願いしています。		
33	12	○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる。	「重度化された場合の対応に係る指針」は入居時に説明を行い、また終末期には改めて説明し、合意の上で、合意書を頂き、本人様・家族様の意向に沿った対応をしています。看取りについては主治医・訪問看護と連携を取りながら、また職員も看取り研修を行い、寄り添うケアで支援を行います。	利用開始時に「重度化された場合の対応に係る指針」を説明し意向を確認している。希望により看取りを行い、終末期の状況に際し改めて説明をすると共に、主治医や訪問看護との随時の連携など、チームとして方向性を持ち、本人や家族の意向に寄り添いながら支援している。	
34		○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている。	急変時には連絡網に従い対応する体制を取っています。また発生事例については、再度関係者と振り返り意見交換を行っています。		
35	13	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている。	急変時には連絡網に従い対応する体制を取っています。また発生事例については、再度関係者と振り返り意見交換を行っています。	年2回定期的な訓練を企画し、消防署の協力も踏まえ実施している。ハザードマップ上水害が想定されるエリアにて、訓練では2階への垂直避難やマニュアルに沿って実際に想定した訓練を実施している。備蓄や有事の協力体制なども法人事業所間の連携により支援体制を築いている。	



自己評価	外部評価	項目(なでしこ五日市1階)	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の( )内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
IV その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
36	14	○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保  一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている。	職員の声掛けを参考にし、一人ひとりの利用者様に合わせた声掛けを心掛けています。	居室に入る前には必ず声を掛けて入室する等、基本を忠実に心掛け、プライバシーを尊重し節度ある対応を意識し日々のケアに努めている。利用者一人ひとりに向き合い、その方に合った接し方の工夫や配慮、本人の気持ちを損わないことを念頭に職員間で共有し取り組んでいる。	
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援  日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている。	職員の声掛けを参考にし、一人ひとりの利用者様に合わせた声掛けを心掛けています。		
38		○日々のその人らしい暮らし  職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している。	職員の声掛けを参考にし、一人ひとりの利用者様に合わせた声掛けを心掛けています。		
39		○身だしなみやおしゃれの支援  その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している。	毎日の更衣時に、好みの服を相談しながら選んでいただいています。また好みの化粧品や訪問理美容、爪のネイルなど本人様の希望に合わせて支援しています。		
40	15	○食事を楽しむことのできる支援  食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている。	調理専門職員を配し、湯来町産の玄米を自家精米して提供しています。毎日の食事メニューをホワイトボードに掲示し特に食の少ない利用者様には好みのメニューの時は事前に声掛けしています。お誕生日食やイベントの際には、利用者様のリクエストに答えられるように配慮しています。	調理専門職員を配置し、地産地消で地元の米を毎日その日に精米し炊いたご飯や、できるだけ手作りで美味しい食事に拘り提供している。お誕生日食やイベントでは意向を反映させ、店で寿司やピザなど注文し持ち帰りにしたりなど、利用者の豊かな食の楽しみとなっている。	

自己評価	外部評価	項 目( なでしこ五日市1階 )	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の( )内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
41		<p>○栄養摂取や水分確保の支援</p> <p>食べる量や栄養バランス，水分量が一日を通じて確保できるよう，一人ひとりの状態や力，習慣に応じた支援をしている。</p>	<p>毎日の食事・水分摂取量を記録し，その推移を見ながら工夫しています。水分摂取量の少ない利用者様の好みの飲料を把握し提供しています。また食べやすいように刻みや量の調節を行っています。</p>		
42		<p>○口腔内の清潔保持</p> <p>口の中の汚れや臭いが生じないように，毎食後，一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている。</p>	<p>毎食後、口腔ケアを行っています。職員の見守りや必要に応じて口腔内の確認をしています。また、毎月1回は歯科医・歯科衛生士の往診があり、口腔衛生等個々の相談を行っています。</p>		
43	16	<p>○排泄の自立支援</p> <p>排泄の失敗やおむつの使用を減らし，一人ひとりの力や排泄のパターン，習慣を活かして，トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている。</p>	<p>排泄表を作成し、排泄のタイミングを把握し、極力トイレでの排泄に繋がるように、声掛け、誘導するように心掛けています。</p>	<p>タブレットへの記録と紙ベースでも排泄表を作成し、利用者個々の排泄感覚やパターンを掴める取り組みにてそれぞれに合った支援を確立している。歩いてトイレに行くことも普段の生活や心身状態と繋がった一連の行為であると認識し、少し遠回りし歩く機会を持つなど努めている。</p>	
44		<p>○便秘の予防と対応</p> <p>便秘の原因や及ぼす影響を理解し，飲食物の工夫や運動への働きかけ等，個々に応じた予防に取り組んでいる。</p>	<p>便秘にならないように、牛乳やヨーグルトの乳製品を毎日摂取し、自然排便に繋がるようにしています。また、適度な運動や腹部マッサージも行い排便に繋がるように心掛けています。</p>		
45	17	<p>○入浴を楽しむことができる支援</p> <p>一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように，職員の都合で曜日や時間帯を決めず，個々に応じた入浴の支援をしている。</p>	<p>週2回入浴を行っています。入浴が好きな利用者様が多くその日を楽しみにされています。入浴を拒否される利用者様には出来るだけ入浴して頂けるように脱衣場にCDで好みの音楽を流したり、入浴し易い雰囲気づくりを心掛けています。</p>	<p>週2回をめぐりに午前中に入浴を実施している。定期的な間隔にて利用者も入浴の日が把握しやすいことや、予定日以外の入浴希望や入りたくない気持ち、長湯の習慣などにも時間を柔軟に対応し実施している。一人ひとりが気持ちよく入浴が楽しめるように支援している。</p>	

自己評価	外部評価	項 目( なでしこ五日市1階 )	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の( )内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
46		○安眠や休息の支援  一人ひとりの生活習慣やその時々 の状況に応じて、休息したり、安 心して気持ちよく眠れるよう支 援している。	夜間、しっかりと入眠できるように 日中はレクや軽い体操をして頂 けるようにしています。また、夕 食後は入眠しやすい環境を作る ように心掛けています。処方によ る睡眠導入剤の服用なども状況 によって対応しています。		
47		○服薬支援  一人ひとりを使用している薬の目 的や副作用、用法や用量について 理解しており、服薬の支援と症 状の変化の確認に努めている。	介護記録アプリに個人別の服薬 内容が入力されており、効能効果 や注意事項を含め、いつでも確 認できるようにしています。また 、処方内容が変更された時には その内容を明示しています。		
48		○役割、楽しみごとの支援  張り合いや喜びのある日々を過 ごせるように、一人ひとりの生 活歴や力を活かした役割、嗜好 品、楽しみごと、気分転換等の 支援をしている。	家事や食事の手伝い、貼り絵や 鉢植えなどご本人様の興味や 生活歴などで役割をお願いして います。		
49	18	○日常的な外出支援  一人ひとりのその日の希望にそ って、戸外に出かけられるよう 支援に努めている。また、普段 は行けないような場所でも、本 人の希望を把握し、家族や地域 の人々と協力しながら出かける ように支援している。	散歩やおやつを買いに近くの コンビニに出かけたり、また行 きつけの美容院に行かれたりと 外出支援を行いました。が、コ ロナ禍の中、希望には必ずしも 添えていません。	コロナ禍であり、外出機会は 難しい状況であるが、普段の 散歩やコンビニエンスストア での買い物はできる限り行っ ている。以前は季節毎に桜や 紫陽花など見に行ったり、ド ライブをするなど生活の中で 季節の移ろいや外の空気を肌 に感じながらの生活を行って いた。	
50		○お金の所持や使うことの支援  職員は、本人がお金を持つこと の大切さを理解しており、一人 ひとりの希望や力に応じて、お 金を所持したり使えるように 支援している。	自分でお金を持ちたい利用者 様にはご家族様同意の上、所持 して頂いてます。現在、施設と して個人の預り金はありません 。職員と共に買い物の時は、 毎月の請求書に合わせて買い 物代金も請求しています。		

自己評価	外部評価	項 目( なでしこ五日市1階 )	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の( )内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
51		○電話や手紙の支援  家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている。	携帯電話は自由に所持されており自分のペースで電話されています。また毎夕食後に施設の電話で自宅に電話されている利用者様もおられます。手紙についても制約はなく、希望があればはがきも準備しています。		
52	19	○居心地の良い共用空間づくり  共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激(音、光、色、広さ、温度など)がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている。	フロアには観葉植物を置き、ベランダにはプランターに植物を、室内には壁画を飾り、季節感を感じられるように工夫しています。天気の良い日は、デッキ席でおやつを食べるなど解放感を感じられるように心掛けています。	室内は広く開放的な造りとなっている。ゆったりとした空間で過ごせ、季節の花や作品がある室内の雰囲気と職員のケアを通して「ゆったり、のんびり、ほがらかに」という理念が体现できる環境である。庭のデッキでは外気浴やおやつを食べたりと生活の中でアクセントになっている。	
53		○共用空間における一人ひとりの居場所づくり  共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている。	利用者様同士の相性等を考慮した席にしていますが、適宜入れ替えや、テーブルの配置換えを行い、楽しく過ごせる居場所作りの工夫をしています。		
54	20	○居心地よく過ごせる居室の配慮  居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている。	入居時に出来るだけ使い慣れた物やなじみの物などを持ってきていただき、居心地よく過ごして頂けるように心掛けています。	利用開始時に自宅での生活で使い慣れた物や馴染みの物の持参を勧め、利用者が自分の思い出にふれることができるように心掛けています。ベッドや家具の配置も相談しながらそれぞれの状態に合わせた昔馴染みの過ごしやすい環境整備に努めている。	
55		○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり  建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している。	各所に手すりを設置し、また車椅子に対応できるトイレを設置。安全で自立した生活空間を作る工夫をしています。		

V アウトカム項目( なでしこ五日市1階 ) ← 左記( )内へユニット名を記入願います

56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる。	○	①ほぼ全ての利用者の ②利用者の3分の2くらいの ③利用者の3分の1くらいの ④ほとんど掴んでいない
57	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある	○	①毎日ある ②数日に1回程度ある ③たまにある ④ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている	○	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きした表情や姿がみられている	○	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
60	利用者は、戸外への行きたいところへ出かけている	○	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごさせている	○	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている	○	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています	○	①ほぼ全ての家族と ②家族の3分の2くらいと ③家族の3分の1くらいと ④ほとんどできていない

64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている	○	<input type="radio"/> ①ほぼ毎日のように <input type="radio"/> ②数日に1回程度 <input type="radio"/> ③たまに <input type="radio"/> ④ほとんどない
65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている	○	<input type="radio"/> ①大いに増えている <input type="radio"/> ②少しずつ増えている <input type="radio"/> ③あまり増えていない <input type="radio"/> ④全くいない
66	職員は、生き活きと働けている	○	<input type="radio"/> ①ほぼ全ての職員が <input type="radio"/> ②職員の3分の2くらいが <input type="radio"/> ③職員の3分の1くらいが <input type="radio"/> ④ほとんどいない
67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	○	<input type="radio"/> ①ほぼ全ての利用者が <input type="radio"/> ②利用者の3分の2くらいが <input type="radio"/> ③利用者の3分の1くらいが <input type="radio"/> ④ほとんどいない
68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	○	<input type="radio"/> ①ほぼ全ての家族等が <input type="radio"/> ②家族等の3分の2くらいが <input type="radio"/> ③家族等の3分の1くらいが <input type="radio"/> ④ほとんどできていない

自己評価	外部評価	項目( なでしこ五日市2階 )	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の( )内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
I 理念に基づく運営					
1	1	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践に近づけている。	運営方針「ゆったり、のんびり、ほがらかに」のもと、利用者様に寄り添った介護を実践するように心掛けています。		
2	2	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している。	開設時以来、新型コロナウイルス感染予防のため、地域交流が出来てはませんが、近所にお住いの方には散歩時等の挨拶は行っております。朝の通学時にはたすきをかけて声かけを行っています。また運営推進会議開催時には、町内会長様、民生委員様にはご出席をお願いしております。		
3		○事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている。	地域との交流が出来ない中、いかにして地域の人々に向けていけるか模索しているところです。		
4	3	○運営推進会議を活かした取組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実績、評価への取組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている。	新型コロナウイルス感染予防のため、今年度は令和3年12月のみ開催しました。家族様、介護保険課等へ次第・資料を送付し、意見・要望等を頂き、サービス向上に活かしています。		
5	4	○市町との連携 市町担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実績やケアサービスの取組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる。	運営推進会議開催時は、介護保険課、地域包括支援センターに出席のお願いをしています。文書による会議開催時は報告書を介護保険課に提出しています。		

自己評価	外部評価	項目( なでしこ五日市2階 )	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の( )内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
6	5	○身体拘束をしないケアの実践 代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる。	「身体拘束適正化のための指針」に沿って取り組んでいます。毎月のフロアミーティングで具体的な行為について職員間で確認しています。また玄関の施錠は安全優先のため外部からの侵入防止のため施錠しています。身体拘束の有無については隔月開催の運営推進会議にて報告しています。		
7		○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている。	入浴時や更衣時に身体の観察（打ち身や痣の有無）を行い、職員間での情報共有をしています。運営推進会議にて身体拘束と合わせて虐待防止についても報告を行っています。		
8		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している。	現在、成年後見制度を利用されている利用者様が複数名おられます。家族様や電話での問い合わせに同制度の説明は行っています。		
9		○契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている。	契約時に、契約書の内容を読み上げながら細かく説明を行い、理解・納得して頂くようにしております。また、入居後も不安や疑問点等問合せ等については丁寧に説明しています。		
10	6	○運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている。	電話や面会時、また担当者会議で家族様からの意見・要望をお聞きし、改善できることは直ぐに取り組んでおります。また職員間での情報の共有も行い運営に反映させています。		



自己評価	外部評価	項目( なでしこ五日市2階 )	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の( )内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
11	7	○運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている。	管理者は代表者に毎日メールで報告し指示を受けています。また職員からの要望・意見・提案は話しやすい状態を心掛けています。代表者は毎週訪れており、職員や利用者様に声掛けし、意見交換や提案を聞いています。		
12		○就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている。	代表者・管理者は勤務状況を確認し無理のないシフト作成の調整を行っております。「サービス残業なし」を明示し実践しています。働きやすい職場環境作りに努めています。		
13		○職員を育てる取組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている。	代表者・管理者は勤務状況を確認し無理のないシフト作成の調整を行っております。「サービス残業なし」を明示し実践しています。働きやすい職場環境作りに努めています。		
14		○同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取組みをしている。	代表者となでしこ富士見町・温品の管理者を交えたzoom会議を開催し意見交換、情報共有を行っています。また、他施設の介護記録をタブレット端末等で確認することで介護サービスの質の向上に役立てています。		
<b>II 安心と信頼に向けた関係づくりと支援</b>					
15		○初期に築く本人との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている。	入居前の事前面談で本人様・家族様から普段の生活状況やADLを確認し、入居にあたり、不安や要望をお聞きし、その情報を職員間で共有しています。入居後暫くの間は帰宅願望など不穏な状態が見られる事から1日でも早く安心して生活が出来るように本人様とのお話を傾聴しています。		

自己評価	外部評価	項目( なでしこ五日市2階 )	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の( )内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
16		○初期に築く家族等との信頼関係  サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている。	入居前の事前面談で本人様・家族様から普段の生活状況やADLを確認し、入居にあたり、不安や要望をお聞きし、その情報を職員間で共有しています。入居後暫くの間は帰宅願望など不穏な状態が見られる事から1日でも早く安心して生活が出来るように本人様とのお話しを傾聴しています。		
17		○初期対応の見極めと支援  サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている。	事前面談でケアマネジャーを交えて本人様・家族様から意見・要望をお聞きしています。入居後は、現在のサービス内容が適切なのかどうかフロア職員間で意見交換し、必要なサービス等を検討しています。		
18		○本人と共に過ごし支えあう関係  職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている。	出来るだけ入居前の生活様式を大事にし、寄り添いながら日々生活して頂けるように心掛けています。		
19		○本人を共に支えあう家族との関係  職員は、家族を支援される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている。	利用者様の行動様式の変化や気づいた点は家族様に確認し相談しています。共に支えていく関係を構築していこうとしています。		
20	8	○馴染みの人や場との関係継続の支援  本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている。	新型コロナウイルス感染予防のため、面会や外出等は自粛して頂きました。普段の様子は毎月の請求書を送る時にスナップ写真を数枚同封して送っています。またリモート面談を行われる家族様もおられます。		

自己評価	外部評価	項目( なでしこ五日市2階 )	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の( )内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
21		○利用者同士の関係の支援  利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている。	利用者様同士の相性や生活スタイルなどを把握し、席を入れ替えるなどお互いが関わりあえるように工夫しています。また職員も楽しく過ごして頂けるように支援しています。		
22		○関係を断ち切らない取り組み  サービス利用(契約)が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている。	利用者様同士の相性や生活スタイルなどを把握し、席を入れ替えるなどお互いが関わりあえるように工夫しています。また職員も楽しく過ごして頂けるように支援しています。		
<b>Ⅲ その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント</b>					
23	9	○思いや意向の把握  一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している。	利用者様同士の相性や生活スタイルなどを把握し、席を入れ替えるなどお互いが関わりあえるように工夫しています。また職員も楽しく過ごして頂けるように支援しています。		
24		○これまでの暮らしの把握  一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている。	事前面談の際に、それまでの生活歴や趣味、好きなこと、普段の暮らし方等の把握に努めています。		
25		○暮らしの現状の把握  一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている。	事前面談の際に、それまでの生活歴や趣味、好きなこと、普段の暮らし方等の把握に努めています。		

自己評価	外部評価	項目( なでしこ五日市2階 )	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の( )内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
26	10	<p>○チームでつくる介護計画とモニタリング</p> <p>本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している。</p>	<p>デジタル化された介護記録や担当職員からの情報をもとにモニタリングを行い、本人様・家族様の要望・希望を聞き、それをもとにできる抱く現状に即した介護計画を作成しています。</p>		
27		<p>○個別の記録と実践への反映</p> <p>日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている。</p>	<p>タブレット等で介護記録を管理していることにより、いつ、どこでも職員間で情報を共有することにより、体調等の変化などに気づき易くなりました。また主治医や訪問看護への情報提供もスムーズに出来ています。</p>		
28		<p>○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化</p> <p>本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる。</p>	<p>タブレット等で介護記録を管理していることにより、いつ、どこでも職員間で情報を共有することにより、体調等の変化などに気づき易くなりました。また主治医や訪問看護への情報提供もスムーズに出来ています。</p>		
29		<p>○地域資源との協働</p> <p>一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している。</p>	<p>散歩時等で地域の方に挨拶を行っております。また施設が面している道路が小学校の通学路になっていますので、登校時の小学生に「なでしこ見守り隊」として朝の声掛けをしていました。</p>		
30	11	<p>○かかりつけ医の受診支援</p> <p>受診は、本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している。</p>	<p>入居前からのかかりつけ医の継続も可能ではありますが、本人様・家族様の了解のもと、施設の内科医・歯科医の定期的な訪問診察と希望者には心療内科の訪問診察を受けて頂いています。その他必要に応じ専門医の受診にもお連れしています。</p>		

自己評価	外部評価	項目( なでしこ五日市2階 )	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の( )内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
31		○看護職員との協働 介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している。	入居前からのかかりつけ医の継続も可能ではありますが、本人様・家族様の了解のもと、施設の内科医・歯科医の定期的な訪問診察と希望者には心療内科の訪問診察を受けて頂いています。その他必要に応じ専門医の受診にもお連れしています。		
32		○入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。又は、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。	入院時には病院関係者との情報共有を行い、出来るだけ早く早期に再入居出来るようにしています。また退院時には内科の主治医・訪問看護にも支援をお願いしています。		
33	12	○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる。	「重度化された場合の対応に係る指針」は入居時に説明を行い、また終末期には改めて説明し、合意の上で、合意書を頂き、本人様・家族様の意向に沿った対応をしています。看取りについては主治医・訪問看護と連携を取りながら、また職員も看取り研修を行い、寄り添うケアで支援を行います。		
34		○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている。	急変時には連絡網に従い対応する体制を取っています。また発生事例については、再度関係者と振り返り意見交換を行っています。		
35	13	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている。	急変時には連絡網に従い対応する体制を取っています。また発生事例については、再度関係者と振り返り意見交換を行っています。		

自己評価	外部評価	項目( なでしこ五日市2階 )	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の( )内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
IV その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
36	14	○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保  一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている。	職員の声掛けを参考にし、一人ひとりの利用者様に合わせた声掛けを心掛けています。		
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援  日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている。	職員の声掛けを参考にし、一人ひとりの利用者様に合わせた声掛けを心掛けています。		
38		○日々のその人らしい暮らし  職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している。	職員の声掛けを参考にし、一人ひとりの利用者様に合わせた声掛けを心掛けています。		
39		○身だしなみやおしゃれの支援  その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している。	毎日の更衣時に、好みの服を相談しながら選んでいただいています。また好みの化粧品や訪問理美容、爪のネイルなど本人様の希望に合わせて支援しています。		
40	15	○食事を楽しむことのできる支援  食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている。	調理専門職員を配し、湯来町産の玄米を自家精米して提供しています。毎日の食事メニューをホワイトボードに掲示し特に食の少ない利用者様には好みのメニューの時は事前に声掛けしています。お誕生日食やイベントの際には、利用者様のリクエストに答えられるように配慮しています。		

自己評価	外部評価	項 目( なでしこ五日市2階 )	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の( )内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
41		○栄養摂取や水分確保の支援  食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている。	毎日の食事・水分摂取量を記録し、その推移を見ながら工夫しています。水分摂取量の少ない利用者様の好みの飲料を把握し提供しています。また食べやすいように刻みや量の調節を行っています。		
42		○口腔内の清潔保持  口の中の汚れや臭いが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている。	毎食後、口腔ケアを行っています。職員の見守りや必要に応じて口腔内の確認をしています。また、毎月1回は歯科医・歯科衛生士の往診があり、口腔衛生等個々の相談を行っています。		
43	16	○排泄の自立支援  排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている。	排泄表を作成し、排泄のタイミングを把握し、極力トイレでの排泄に繋がるように、声掛け、誘導するように心掛けています。		
44		○便秘の予防と対応  便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる。	便秘にならないように、牛乳やヨーグルトの乳製品を毎日摂取し、自然排便に繋がるようにしています。また、適度な運動や腹部マッサージも行い排便に繋がるように心掛けています。		
45	17	○入浴を楽しむことができる支援  一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めず、個々に応じた入浴の支援をしている。	週2回入浴を行っています。入浴が好きな利用者様が多くその日を楽しみにされています。入浴を拒否される利用者様には出来るだけ入浴して頂けるように脱衣場にCDで好みの音楽を流したり、入浴し易い雰囲気づくりを心掛けています。		

自己評価	外部評価	項 目( なでしこ五日市2階 )	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の( )内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
46		○安眠や休息の支援  一人ひとりの生活習慣やその時々の状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している。	夜間、しっかりと入眠できるように日中はレクや軽い体操をして頂けるようにしています。また、夕食後は入眠しやすい環境を作るように心掛けています。処方による睡眠導入剤の服用なども状況によって対応しています。		
47		○服薬支援  一人ひとりを使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている。	介護記録アプリに個人別の服薬内容が入力されており、効能効果や注意事項を含め、いつでも確認できるようにしています。また、処方内容が変更された時にはその内容を明示しています。		
48		○役割、楽しみごとの支援  張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている。	家事や食事の手伝い、貼り絵や鉢植えなどご本人様の興味や生活歴などで役割をお願いしています。		
49	18	○日常的な外出支援  一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している。	散歩やおやつを買いに近くのコンビニに出かけたり、また行きつけの美容院に行かれたりと外出支援を行いました。が、コロナ禍の中、希望には必ずしも添えていません。		
50		○お金の所持や使うことの支援  職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している。	自分でお金を持ちたい利用者様にはご家族様同意の上、所持して頂いてます。現在、施設として個人の預り金はありません。職員と共に買い物の時は、毎月の請求書に合わせて買い物代金も請求しています。		



自己評価	外部評価	項目( なでしこ五日市2階 )	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の( )内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
51		○電話や手紙の支援  家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている。	携帯電話は自由に所持されており自分のペースで電話されています。また毎夕食後に施設の電話で自宅に電話されている利用者様もおられます。手紙についても制約はなく、希望があればはがきも準備しています。		
52	19	○居心地の良い共用空間づくり  共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激(音、光、色、広さ、温度など)がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている。	フロアには観葉植物を置き、ベランダにはプランターに植物を、室内には壁画を飾り、季節感を感じられるように工夫しています。天気の良い日は、デッキ席でおやつを食べるなど解放感を感じられるように心掛けています。		
53		○共用空間における一人ひとりの居場所づくり  共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている。	利用者様同士の相性等を考慮した席にしていますが、適宜入れ替えや、テーブルの配置換えを行い、楽しく過ごせる居場所作りの工夫をしています。		
54	20	○居心地よく過ごせる居室の配慮  居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている。	入居時に出来るだけ使い慣れた物やなじみの物などを持ってきていただき、居心地よく過ごして頂けるように心掛けています。		
55		○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり  建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している。	各所に手すりを設置し、また車椅子に対応できるトイレを設置。安全で自立した生活空間を作る工夫をしています。		

V アウトカム項目( なでしこ五日市2階 ) ← 左記( )内へユニット名を記入願います

56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる。	○	①ほぼ全ての利用者の ②利用者の3分の2くらいの ③利用者の3分の1くらいの ④ほとんど掴んでいない
57	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある	○	①毎日ある ②数日に1回程度ある ③たまにある ④ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている	○	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きした表情や姿がみられている	○	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
60	利用者は、戸外への行きたいところへ出かけている	○	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごさせている	○	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている	○	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています	○	①ほぼ全ての家族と ②家族の3分の2くらいと ③家族の3分の1くらいと ④ほとんどできていない

64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている	○	<input type="radio"/> ①ほぼ毎日のように <input type="radio"/> ②数日に1回程度 <input type="radio"/> ③たまに <input type="radio"/> ④ほとんどない
65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている	○	<input type="radio"/> ①大いに増えている <input type="radio"/> ②少しずつ増えている <input type="radio"/> ③あまり増えていない <input type="radio"/> ④全くいない
66	職員は、生き活きと働けている	○	<input type="radio"/> ①ほぼ全ての職員が <input type="radio"/> ②職員の3分の2くらいが <input type="radio"/> ③職員の3分の1くらいが <input type="radio"/> ④ほとんどいない
67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	○	<input type="radio"/> ①ほぼ全ての利用者が <input type="radio"/> ②利用者の3分の2くらいが <input type="radio"/> ③利用者の3分の1くらいが <input type="radio"/> ④ほとんどいない
68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	○	<input type="radio"/> ①ほぼ全ての家族等が <input type="radio"/> ②家族等の3分の2くらいが <input type="radio"/> ③家族等の3分の1くらいが <input type="radio"/> ④ほとんどできていない

(様式2)

2 目標達成計画

事業所名 グループホームなでしこ五日市

作成日 令和4年4月30日

【目標達成計画】

優先順位	項目番号	現状における問題点, 課題	目標	目標達成に向けた具体的な取組み内容	目標達成に要する期間
1	1	理念や理念の実践において職員間で意識の差がある。	各職員に理念に沿ったケア方針を深める機会を設ける。	1日の業務終了後、運営方針に基づいた介護が出来たか、定期的に確認する。	12か月
2					
3					
4					
5					
6					
7					

注1) 項目番号欄には、自己評価項目の番号を記入すること。

注2) 項目数が足りない場合は、行を追加すること。